

第1回ワークショップ「カードゲームで学ぶ地方創生」概要

8月10日（土）、福井県生活学習館において、長期ビジョン策定のためのワークショップ「みんなで描く2040年 福井の未来地図」を開催しました。

この日は、学生グループ約35名、若者・子育て世代グループ約35名の合計約70名が参加し、持続可能な社会づくりについて、カードゲーム「SDGs de 地方創生」を通じて楽しみながら体験しました。

また、福井県の将来人口や地域社会等に関する環境変化など、データを交えて学びました。

「SDGs de 地方創生」とは

ロールプレイング形式で仮装地域の行政職員や観光事業者らを担当し、立場ごとにSDGsに沿ったゴールが設定され、「お金」と「資源」のカードをチームで交換しながら、地域プロジェクトの実行を目指すカードゲーム

<参加者の感想（一例）>

「みんなで協力することで、無限の可能性があったと思った」（高校生）



「みんなが危機感を感じて協力したから目標が達成できた。大丈夫だと思っていたら後で大変なことになると思う」（高校生）

「環境や経済、他のこととバランスをとりながら人口を増やすことは難しいと感じた」（子育て世代）

